

課題情報シート

テーマ名 :	駅前銭湯復活プロジェクト				
担当指導員名 :	竹口 浩司	実施年度 :	25 年度		
施設名 :	中国職業能力開発大学校附属 島根職業能力開発短期大学校				
課程名 :	専門課程	訓練科名 :	住居環境科		
課題の区分 :	総合制作実習課題	学生数 :	3	時間 :	12 単位 (216h)

課題制作・開発のポイント

【開発（制作）のポイント】

銭湯の改修においては、持ち主をはじめ商店会、商工会等の理解が必要でしたが、平成 24 年度に空き店舗の改修を行っている実績と江津のまちづくり、地域活性化の意識が非常に高いこともあり地元の協力を得ることが出来ました。また、予算に関しては、島根職業技術教育振興会の協力を得ることにより改修工事が可能になりました。それにより、地域貢献と実際の現場において専門課程で習得した技能、技術を発揮することができました。

実際の作業においては、安全管理には細心の注意を払い作業を行いました。指導員が不在の時や車の手配が出来ない時もある為、現場での作業と校内での作業を工程計画の中で行い効率的に作業が進行するようにしました。また、解らない部分は部外講師を活用し、実務レベルでの指導も受けながら計画、施工を実施しました。

【学生の内訳】 現場調査、プランニング、解体作業、施工作业：各 3 名

【訓練（指導）のポイント】

「この総合制作実習は、今までの実習とは違い実際に使われるものである。」ということを知り学生に責任感を持たせ実習にあたらせました。コンセプトの作成等は学生ならではのアイデアを採用し自らやる気が出るようにしました。さらに、プランの作成において材料等の見積りや実際に竹を施工する方法等まずは自分達で考えさせ施工図を作成し、各学生が担当する部位（壁・天井・什器等）を決めて作業の効率化を図り、担当部位に対しての責任感を持たせました。

課題に関する問い合わせ先

施設名 : 中国職業能力開発大学校附属島根職業能力開発短期大学校
住所 : 〒695-0024 島根県江津市二宮町神主 1964-7
電話番号 : 0855-53-4567 (代表)
施設 Web アドレス : <http://www3.jeed.or.jp/shimane/college/>

課題制作・開発の「予稿」および「テーマ設定シート」

次のページ以降に、本課題の「予稿」および「テーマ設定シート」を掲載しています。

駅前銭湯復活プロジェクト

中国職業能力開発大学校
附属島根職業能力開発短期大学校
住居環境科

1. はじめに

現在、江津駅前には人口減少や郊外型店舗の増加等により空き店舗が多く存在する。その中において、廃業した銭湯『鶴の湯』の存在を知り、私達は銭湯の風情ある建物、そこにあったコミュニティが無くなってしまったことを残念に感じ、『鶴の湯』の再生が新たなコミュニティの場、そして、人と人との繋がりを増やすまちづくりの一步となると考え、『駅前銭湯復活プロジェクト』をテーマとした総合制作を実施することとした。

2. 作業手順

銭湯『鶴の湯』は、平成10年に廃業しており、当時の懐かしさを残しながらも、改修を必要としていた。今回の総合制作では、銭湯全体を改修することは期間的に難しいため、銭湯復活プロジェクトのコンセプト作成と男子更衣室のみの改修を行うこととした。

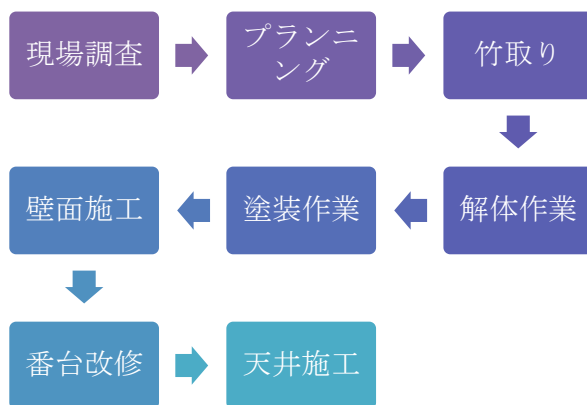


図1 作業工程

3. 現場調査

現在『鶴の湯』がどのような状態かを把握するため、現場調査を行うことにした。

『鶴の湯』には、亭主が自ら改装しているため図面が無い状態であったので、現場で寸法取りを

行い、その寸法を元に平面図、展開図、番台の図面を作成した。



写真1 左：男子更衣室 右：寸法の測定

4. プランニング

プランニングを始める前に、『鶴の湯』復活のコンセプトをディスカッション形式で考え「新しさの中の懐かしさ」に決めた。

今までにない銭湯に改修したいと思い、竹に囲まれた空間を演出することに決め、内壁と天井を江津の竹を使用する計画で改修図面を作成した。



写真2 ディスカッション

5. 竹取り

竹に囲まれた空間を演出するため、仕上げ材になる竹も自分たちで調達しようと考え、プランニングで作成した改修図面を元に必要な竹の本数を割り出し、近辺の竹藪で、竹の調達を行った。



写真3 竹取り

6. 解体作業

解体作業として、まず古くなったカウンターや飾り棚等の家具を撤去した。

天井の解体では、バール、鋸などを使用し、仕上げ材→野縁板→野縁受けの順で解体を行った。続いて、番台周囲のスペースを広くするため、番台の前方にある男子女子脱衣室の間仕切り壁一部を切り落とした。



写真4 天井の解体

7. 改修作業

改修作業として、塗装作業、壁面施工、天井施工、番台改修に作業を細分してまとめることにする。

(1) 塗装作業

壁と天井の取り合い部分を刷毛で隅切りし、次にローラーを使って広い面の塗装を行った。穴や凹凸などのローラーで塗りきれなかった部分はスプレーガンを使い塗料を吹き付けて仕上げた。壁や天井の施工で使う下地材も仕上がった時に目立たなくするため、同じ塗料で塗装を行った。

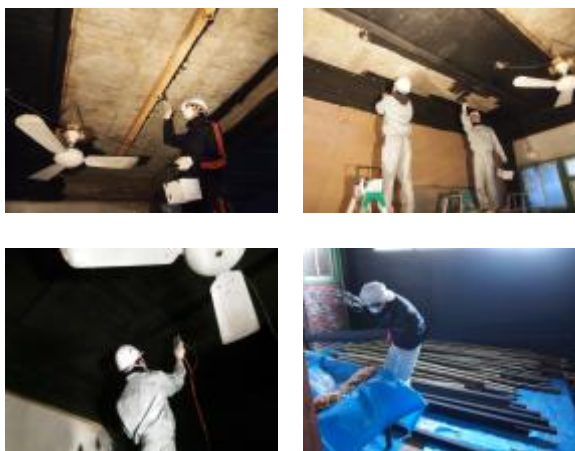


写真5

左上：刷毛塗り 右上：ローラー塗り
左下：吹き付け塗装 右下：下地木材

(2) 壁面の竹施工

竹を6本1組とし、背中側に塗装した胴縁を横にビスで取り付け、6本の竹を1つのユニットとした。壁への取り付けは、ビスが見えないようユニット毎に竹の隙間からコンクリート用ビスで壁に固定させた。



写真6 壁面の竹施工

(3) 番台の改修

番台は側面に竹を取り付けるため、側面に胴縁を取り付ける。番台の側面には曲面の部分があるため、曲線形に加工した胴縁を打ち付けた。竹は見た目も考えて、真鍮釘で留めつけた。



写真7 番台の施工

(4) 天井施工

天井の施工は、竹の間から天井の下地が見える為、塗装した吊り木を取り付け、野縁受けと野縁を施工した。竹の取り付けは、壁同様ビスを見せない様に、天井の裏から竹を固定することとした。

8. おわりに

銭湯のリノベーションに挑戦してみることで、現場作業の難しさや、工程通りに作業を進めることの大変さを実感した。図面通りにいかない部分も多くあり、試行錯誤の連続であったが、責任感を持ち総合製作に取り組むことができた。

最後に、本制作を通してご指導・ご支援していただいた多くの方々に感謝申し上げます。

課題実習「テーマ設定シート」

作成日： 月 日

科名：住居環境科

教科の科目		実習テーマ名	
総合制作実習		銭湯銭湯復活プロジェクト	
担当教員		担当学生	
住居環境科 竹口浩司			
課題実習の技能・技術習得目標			
<p>これまで施工実習において習得したスキルをもとに、実際の現場作業において自ら計画、管理、行動を実施し、発生した諸問題に対して総合的に対応できるスキルを習得します。</p>			
実習テーマの設定背景・取組目標			
実習テーマの設定背景			
<p>近年、日本の地方では、人口の減少や郊外の大型ショッピングセンターに押されて以前からある商店街では、空き店舗が目立ち始めている。その中で江津市には、使われなくなった銭湯が存在する。銭湯においては、各家に浴室が出来てきたことにより、必要性はなくなってきている。しかし、全国的に銭湯だった建物は、今注目を集めている。昔ながらの銭湯の雰囲気を生かしコンバージョン（用途変更）による改修で注目を集めている物件もある。このような背景から、江津駅前の銭湯の改修を行うことにより、実際の現場で改修計画から施工までを学生自ら中心となって実施し、ポリテクカレッジで習得した技能と技術を発揮することができ、さらなるスキルを習得することができる。さらに、人口の減少などで、賑わいをなくした商店街の活性化にもつながる。これからの日本は、人口の減少による地域の過疎化、それに伴い空き家や空き店舗がますます問題になる。その時、将来建築に携わる学生にとっては、今あるものを生かし、どのように使われるかを考え、実際に施工まで行うこの総合制作実習は、とても重要なテーマである。</p>			
実習テーマの特徴・概要			
<p>江津駅前にある銭湯の改修を通じ、工程計画や工程管理を含めた施工技術に対する実践力を身につけます。これまでの実習では与えられた作業を実施していくことが多かったのですが、本実習を通して自らが考え行動し、発生する諸問題に対して自らで解決策を模索していくことが重要と考えます。また、実際の現場作業を経験することで実践技術者としてのスキルを磨きます。</p>			
No	取組目標		
①	改修工事に関する知識を習得します。		
②	改修工事の施工スキルを向上します。		
③	計画的に物事を進めていく計画力、実行力を身に付けます。		
④	工程管理、資材管理の実践力を身に付けます。		
⑤	発表会の実施により、各種プレゼンテーション技法・機器操作を習得します。		
⑥	報告書等の作成により、文章表現力を身に付けます。		
⑦	実習を通して課題発見、分析能力を身に付けます。		
⑧	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の実現に努め、安全衛生活動を行います。		
⑨			
⑩			